

平成25年度越谷市自治基本条例推進会議 第2回会議  
ワークショップ結果【B班】

市政に関する情報

→何をやるか  
→どうしてやるのか } 政策情報化・争点化



※政策の内容を示すだけでなく、議論すべきポイントも同時に示すことで、わかりやすい情報となる。

○市民ガイドブックについて

- ・ガイドブックに自治基本条例の全文を入れるべき。
- ・広告と記事とのバランスが課題
  - 悪い点：広告が多いと、読みにくい。
  - 良い点：掲載されている広告が、市内の産業を知るきっかけとなる。

○ツイッターについて

→若い人の関心を高めることができるツールなのでどんどんやっていくべき。

○YouTube について

→越谷市のイベント等を紹介するとき、言葉だけではなく映像を活用することでわかりやすく説明ができる。

○OHP について

- ・改善されて、とてもわかりやすくなった。
- ・検索性が高まってきている。(知りたい情報が探しやすくなった)
  - 知る対象が増えることで市政に関心が持てるようになってくる。

## 市民の市政への参加

- 会議などを開催した際、ホームページなどで議事録を公表することにより、市政への関心が高まる。
- ふれあいミーティングの参加者をより多くするには
  - テーマ設定を工夫する。
  - 若年層と高齢層をつなぐ手段としてふれあいミーティングを活用する。

## 意見公募手続

- ・政策の内容を示すだけでなく、議論すべきポイントも同時に示すことで、市民の関心を高めることができる。